

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

| 学 部            | 小学部   | 学 年   | 第4学年  |    |
|----------------|---|-------|---|----|
| 教科等名           | 国語  | グループ名 | あお  |    |
| ねらい            | (1) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。<br>(2) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。<br>(3) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしていその能力の向上を図る態度を養う。 |       |   |    |
| 担当教員           | ○黒川凌河 渡邊富士  |       |   |    |
| 年間授業時数         | 70 単位時間   |       |   |    |
| 使用教科書          | 「あっちゃんあがつく たべものあいうえお」リーブル<br>「あいうえおはよう」こぐま社   |       |   |    |
| 月              | 題材名   | 時数    | ○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫  | 備考 |
| 4<br>5         | お話を楽しもう①  | 14    | ○パネルシアターや絵本等<br>◆知っている言葉や絵等に反応したり、注目したりする。<br>○物のマッチングや友達や教員への受け渡し<br>◆繰り返しのことばで部分的に声を出す。<br>◆マッチングや受け渡しの活動をする。<br>□繰り返しの言葉や身近な物が出てくる話を選ぶ。<br>□物語に出てくる物の名前、動きを表す言葉など、いろいろな言葉の種類に触れるような題材を選ぶ。<br>□身振り手振りでお話の一部を表現できるように教材を準備する。（お面や身に着けられるような教具など）<br>□教材を注目して見られるように視覚支援する。 |    |
| 6<br>7<br>9    | 文字あそびをしよう   | 18    | ○身近な事物の名称等、平仮名や片仮名で書かれた文字を声に出して読んだり、書いたりする<br>○しりとりゲームや「○」のつく言葉集めなどの文字を使ったゲームをする<br>◆促音や拗音を読んだり、書いたりすることができる。<br>◆役割を理解し、ゲームに取り組む。<br>□イラストで役割を提示し、手本を見せる。  |    |
| 10<br>11<br>12 | お話を楽しもう②  | 21    | ○昔話や絵本など<br>◆昔話や絵本の読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きに親しむ。<br>◆話の流れが分かり、期待しながら見たり、聞いたりする。<br>◆提示された言葉や絵と同じように動いたり、ペープサート等を操作したりする。<br>□昔話の語り始めの一部をまねしたり、読み聞かせを聞いたりするなどして、言葉の響きに親しむように支援する。<br>□平仮名の文字や平仮名で表された語に関心をもち、音節があることへの気付きにつながるよう、語のまとまりとして部分的な演技ができるようにする。          |    |
| 1<br>2<br>3    | 正しく書こう  | 17    | ○写書きやなぞり書きなど<br>◆正しい書写の姿勢や筆記用具の使い方に関する意味や関心を高める。自分の名前やものの名前を文字で表すことを知る。   |    |

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  | <ul style="list-style-type: none"><li>□具体物や絵、写真などと単語や文字カードを一致させる活動を通して、平仮名で表すことを理解できるようにする。</li><li>□マスなど、枠の中に書く練習をする。</li><li>□筆記具を正しく持ったり、いろいろな線を書いたりして、筆記具の扱いに慣れるようにする。</li></ul> |  |
|--|--|--|--|

| 学 部            | 小学部  | 学 年   | 第4学年  |    |
|----------------|--|-------|---|----|
| 教科等名           | 国語   | グループ名 | きいろ   |    |
| ねらい            | (1) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。<br>(2) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。<br>(3) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。 |       |   |    |
| 担当教員           | ○中藤良子 村山優夏   |       |   |    |
| 年間授業時数         | 70 単位時間  |       |   |    |
| 使用教科書          | 「あっちゃんあがつく たべものあいうえお」リーブル<br>「あいうえおはよう」こぐま社  |       |   |    |
| 月              | 題材名  | 時数    | ○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫  | 備考 |
| 4<br>5         | 歌遊び・文字遊びをしよう   | 14    | <input type="radio"/> 歌遊びやわらべ歌遊び<br><input type="radio"/> 平仮名の読み書きや選択<br>◆歌や絵本に出てくる物の名前や、友達の名前を読んだり、書いたり、見比べて選んだりする。<br><input type="checkbox"/> 言葉の響きやリズムを楽しめ、興味や関心をもてるような歌を取り入れる。<br><input type="checkbox"/> 日常生活でよく使われる平仮名を扱う。  |    |
| 6<br>7<br>9    | お話を楽しもう①   | 18    | <input type="radio"/> 物語の読み聞かせと部分的な演技<br><input type="radio"/> 身近な物の名前や動詞<br>◆登場人物と同じ動作をしたり、パネルなどを操作したりして、物語の大まかな展開を理解する。<br>◆物の名前や動詞を使った文を聞き、イメージを広げる。<br><input type="checkbox"/> 物語に出てくる名詞や動詞の文字カードや絵カード、写真カードなどを取り入れる。  |    |
| 10<br>11<br>12 | 文字あそびをしよう  | 21    | <input type="radio"/> しりとりや「○」のつく言葉集めなどの文字を使ったゲーム<br><input type="radio"/> 平仮名の読み書きや選択<br>◆物の名前を読んだり、書いたり、平仮名カードで構成したりすることができる。<br>◆語頭音を意識することができる。<br>◆役割を理解し、ゲームに取り組む。<br><input type="checkbox"/> イラストで役割を提示し、手本を見せる。  |    |
| 1<br>2<br>3    | お話を楽しもう②   | 17    | <input type="radio"/> 物語の読み聞かせと部分的な演技<br><input type="radio"/> 身近な物の名前や動詞、形容詞など<br>◆登場人物と同じ動作をしたり、パネルなどを操作したりして、物語の大まかな展開を理解する。<br>◆物の名前や動詞、形容詞を使った文を聞いたり、書いたりしてイメージを広げる。<br>◆音節に気付いて、語のまとまりとして言葉を使う。<br><input type="checkbox"/> 物語に出てくる名詞や形容詞の文字カードや絵カード、写真カードなどを取り入れる。 |    |

| 学 部            | 小学部   | 学 年   | 第4学年   |    |
|----------------|---|-------|--|----|
| 教科等名           | 国語  | グループ名 | みどり  |    |
| ねらい            | (4) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。<br>(5) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。<br>(6) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしていその能力の向上を図る態度を養う。 |       |  |    |
| 担当教員           | ○高橋大樹 小林千鶴  |       |  |    |
| 年間授業時数         | 70 単位時間   |       |  |    |
| 使用教科書          | 「あっちゃんあがつく たべものあいうえお」リーブル<br>「あいうえおはよう」こぐま社   |       |  |    |
| 月              | 題材名   | 時数    | ○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫   | 備考 |
| 4<br>5         | お話を楽しもう①  | 14    | ○絵本や紙芝居などを見たり、聞いたりする<br>○絵を見て質問に答える<br>○登場人物の名前を書く<br>◆期待感をもって絵本等を見たり、話を聞いたりできる。<br>◆友達の前で発表することができる。<br>◆登場人物の名前を書くことができる。<br>□児童の興味がある教材を使う。<br>□発表の方法をイラストで示す。<br>□登場人物をイラストで示す。  |    |
| 6<br>7<br>9    | 文字あそびをしよう   | 18    | ○身近な事物の名称等、平仮名や片仮名で書かれた文字を声に出して読んだり書いたりする<br>○しりとりゲームや「○のつく言葉集め」などの文字を使ったゲームをする<br>◆促音や拗音を読んだり、書いたりすることができる。<br>◆役割を理解し、ゲームに取り組む。<br>□児童の好きなキャラクターを使い、意欲的に取り組めるようにする。<br>□イラストで役割を提示し、手本を見せる。  |    |
| 10<br>11<br>12 | お話を楽しもう②  | 21    | ○絵本に出てくる事案と自分の知っている言葉とを結び付けたり、思い浮かべたりする<br>○絵本に出てきた台詞を言う<br>○絵本に出てきた生き物の名称を書く<br>◆絵本で起こった出来事と自分の知っていることとを結び付けて発表することができる。<br>◆場面に合わせて台詞を言うことができる。<br>◆生き物の名称を書くことができる。<br>□日常生活で行うことを教材にし、絵本と結びつきやすいようにする。<br>□それぞれの場面や台詞を表示し、見通しをもたせる。<br>□登場した生き物をイラストで示す。 |    |

|                      |  |           |   |  |
|----------------------|--|-----------|---|--|
| <p>1<br/>2<br/>3</p> | <p>お話を<br/>楽し<br/>もう③</p> <p>みんなに<br/>伝えよう</p> | <p>17</p> | <p>○登場する物や人物の動作を思い浮かべる<br/>○好きな場面の言葉や動作をまねる<br/>○場面に合わせて物や人物のパネルを動かし、セリフを言う<br/>○好きな言葉を書く<br/>◆動作を覚えて発表することができる。<br/>◆好きな台詞を覚えて発表することができる。<br/>◆登場人物になりきってパネルを動かしたり、台詞を覚えて言ったりすることができる。<br/>◆好きな場面の言葉を書くことができる。<br/>□繰り返しの言葉や身近な物が出てくる話を選ぶ。<br/>□順番や順序などなイラストや絵カード等を用いて示す。<br/>□児童の実態にあわせて題材に工夫を加える。<br/>□登場人物が話した言葉を平仮名やイラストで示す。</p> <p>○校外学習などの場面の写真を見て、楽しかったことを選ぶ<br/>○いつどんなことをしたのか伝える<br/>◆場面を思い起こすことができる。<br/>◆前に出て発表することができる<br/>□場面の写真や順番など用いて示す。<br/>□実態に応じて楽しいなどの動作を表す絵カードで示せるようにする。</p> |  |
|----------------------|--|-----------|---|--|

| 学 部            | 小学部  | 学 年   | 第4学年  |    |
|----------------|--|-------|---|----|
| 教科等名           | 算数   | グループ名 | あお  |    |
| ねらい            | <p>(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気づき理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気づき感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさに気づき、関心をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。</p> |       |   |    |
| 担当教員           | ○渡邊富士 黒川凌河   |       |   |    |
| 年間授業時数         | 70 単位時間  |       |   |    |
| 使用教科書          | 「くもん式のかずカード」くもん出版  |       |   |    |
| 月              | 題材名  | 時数    | ○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫  | 備考 |
| 4<br>5         | くらべてみよう①（身近な数）   | 14    | <p>○数の大小</p> <p>◆2つの数の大小を比較することができる。</p> <p>◆「0」の意味を理解する。</p> <p>□数を視覚的に理解できるように、具体物を操作して比べる活動を取り入れる。</p> <p>□買い物ごっこなど、数を使ったやり取りを設定し、児童の生活にとって身近な状況の中で理解を促す。</p>  |    |
| 6<br>7<br>9    | しらべてみよう  | 18    | <p>○ものの分類</p> <p>◆身近なものを目的・用途・機能ごとに分類することができる。</p> <p>◆身の回りにあるものの個数に着目して絵や棒グラフなどに写し、多少を比べて表現することができる。</p> <p>◆身の回りの出来事を、○×を用いて簡単な表を作成できる。</p> <p>□机と椅子、コップと歯ブラシなど生活に身近な具体物を対応させる活動を通して、分類の意味を理解できるようにする。</p> <p>□簡単なゲームをして結果を○×で示し、意味を理解できるようにする。また、○や×の数を比べて多少や同等の理解を促す。</p> |    |
| 10<br>11<br>12 | すうじであそぼう   | 21    | <p>○10までの数の数え方、分解・統合</p> <p>◆1つの数を2つの数に分けたり、2つの数を1つにまとめたりして表現することができる。</p> <p>□数を分けたりまとめたりした結果が視覚的に分かるように、具体物を操作する活動などを行う。</p>  |    |
| 1<br>2<br>3    | くらべてみよう②（測定）   | 17    | <p>○長さ、重さ、高さ、広さの量の大きさ</p> <p>◆長さ、重さ、高さ、広さに注目して比べる活動を通して、結果を長い、広いなどの用語を用いて理解・表現することができる。</p> <p>□背の高さ、具体物の重さなど、身近なものを視覚や触覚を用いた体験を通して理解できるようにする。また、感覚的に分かる一方を基準にもう一方の状態を理解できるようにする。</p>   |    |

| 学 部         | 小学部  | 学 年   | 第4学年   |    |
|-------------|--|-------|--|----|
| 教科等名        | 算数   | グループ名 | きいろ  |    |
| ねらい         | (1) 数のまとまりに興味・関心をもち、数量を数え、数の処理に関する基礎的な技能を身に付ける。日常生活の中で見聞きする色や形、大きさの言葉を知る。<br>(2) 身の回りの事象の数や形・量に着目し、まとまりや数の大きさを用いて表現する力を養う。<br>(3) 算数で学んだことよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |       |  |    |
| 担当教員        | ○村山優夏 中藤良子   |       |  |    |
| 年間授業時数      | 70 単位時間  |       |  |    |
| 使用教科書       | 「くもん式のかずカード」くもん出版  |       |  |    |
| 月           | 題材名  | 時数    | ○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫   | 備考 |
| 4<br>5      | 数遊びをしよう①   | 14    | <input type="radio"/> 数に関するパネルシアターや絵本<br><input type="radio"/> 数唱に合わせて具体物やカードを操作すること<br><input type="radio"/> 1～12の数字を読んだり、数唱したりすること<br><input checked="" type="checkbox"/> 教員の数唱に合わせて具体物を取ったり、貼ったりすることができる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 数字を読んだり、数唱したりする。<br><input checked="" type="checkbox"/> 時計を読み、活用する。<br><input type="checkbox"/> 簡単なゲームなどを通して楽しく数に親しむことができるようにする。<br><input type="checkbox"/> 具体物を操作することで正解を確認できるようにする。   |    |
| 6<br>7<br>9 | くらべてみよう  | 18    | <input type="radio"/> 多い・少ないに関するパネルシアターや絵本<br><input type="radio"/> 多い・少ないの比較<br><input checked="" type="checkbox"/> 「多い」「少ない」等の比較の言葉を知る。<br><input checked="" type="checkbox"/> 多い・少ないを比べる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 身近にあるものの多少の違いに関心をもつ。<br><input checked="" type="checkbox"/> 物の多い・少ないの違いに気付く。<br><input checked="" type="checkbox"/> 教員の簡単な指示や説明を聞いて、発表したり、活動したりする。<br><input type="checkbox"/> 具体物を用いて、多い・少ないを比べるようにする。<br><input type="checkbox"/> 発声やサイン、文字などを介して取り組む。 |    |
| 10<br>11    | 色や形の違いを知ろう   | 21    | <input type="radio"/> 形に関するパネルシアターや絵本<br><input type="radio"/> 丸・三角・四角の形の違いと形を表す言葉<br><input type="radio"/> 赤・青・黄・緑などの色を表す言葉<br><input checked="" type="checkbox"/> 色や形の違いに気付く。<br><input checked="" type="checkbox"/> 色や形の属性に着目して仲間分けすることができる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 色や形を表す言葉に親しむ。<br><input type="checkbox"/> 見やすい大きさ、識別しやすい色、持ちやすい厚さの教材を提示する。  |    |
| 12<br>1     | 数遊びをしよう②   | 12    | <input type="radio"/> 数に関するパネルシアターや絵本<br><input type="radio"/> 数えながら具体物やカードを操作すること<br><input type="radio"/> 1～12の数字を読んだり、数唱したりすること<br><input checked="" type="checkbox"/> 自分で数えながら具体物を取ったり、貼ったりすることが   |    |

|        |                |    |  |  |
|--------|----------------|----|--|--|
|        |                |    | <p>できる。</p> <p>◆数字を読んだり、数唱したりする。</p> <p>◆集団の前で身振りや簡単な言葉などで発表したり、活動したりする。</p> <p>□前期の活動を発展させながら、更なる定着を図る。</p>                     |  |
| 2<br>3 | 買い物ごっこ<br>をしよう | 12 | <p>○指示された数の物を少し離れた所から運ぶこと</p> <p>◆模型やカードを見て指示を理解し、記憶する。</p> <p>◆物の種類や数に着目して選択することができる。</p> <p>□個々の理解度に合わせて、スモールステップで課題設定をする。</p> |  |



| 学 部         | 小学部  | 学 年   | 第4学年  |    |
|-------------|--|-------|---|----|
| 教科等名        | 算数   | グループ名 | みどり   |    |
| ねらい         | (1) 数のまとまりに興味・関心をもち、数量を数え、数の処理に関する基礎的な技能を身に付ける。<br>(2) 身の回りの事象の数や形・量に着目し、まとまりや数の大きさを用いて表現する力を養う。<br>(3) 算数で学んだことよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |       |   |    |
| 担当教員        | ○小林千鶴 高橋大樹   |       |   |    |
| 年間授業時数      | 70 単位時間  |       |   |    |
| 使用教科書       | 「くもん式のかずカード」くもん出版  |       |   |    |
| 月           | 題材名  | 時数    | ○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫  | 備考 |
| 4<br>5      | 数であそぼう①<br>（身近な数）  | 14    | <input type="checkbox"/> 数の大小<br><input checked="" type="checkbox"/> 2つの数を比べて大小を比較することができる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 「0」の意味を理解する。<br><input type="checkbox"/> 視覚的な教材や児童の活動を取り入れ、体験的に理解できるよう支援を工夫する。<br><input type="checkbox"/> 生活に身近なお金や食べ物などの具体物を教材に取り入れ、児童の興味・関心に配慮する。 |    |
| 6<br>7<br>9 | 比べてみよう①<br>（身近な分類）   | 18    | <input type="checkbox"/> 身近な分類<br><input checked="" type="checkbox"/> 身近なものについて、目的・用途・機能によって分類できる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 個数に着目して多少を読み取り、身の回りの出来事について○×を用いて簡単な表を作成できる。<br><input type="checkbox"/> 簡単なゲームを設定するなどして、数を用いる活動に親しめるよう支援する。                                  |    |
| 10<br>11    | 数であそぼう②<br>（身近な数量）   | 20    | <input type="checkbox"/> 1つの数の分割・統合<br><input checked="" type="checkbox"/> 10までの数で、1つの数を2つの数に分けたり、2つの数を1つの数にまとめたりして表すことができる。<br><input type="checkbox"/> 児童の関心に配慮した教材を用いながら、活動を伴って理解しやすいよう支援を工夫する。  |    |
| 12          | 比べてみよう②<br>（測定）  | 6     | <input type="checkbox"/> 長さ、重さ、高さ、広さの量の大きさ<br><input checked="" type="checkbox"/> 身の回りにある具体物の量の大きさに注目し、大きさを比べて用語を用いて表現できる。<br><input type="checkbox"/> 簡単なゲームを設定するなどして、数量を操作する活動に親しめるよう支援する。  |    |
| 1<br>2<br>3 | 買い物ごっこをしよう   | 12    | <input type="checkbox"/> 身近な数量（具体物の分割・統合など）<br><input checked="" type="checkbox"/> 金銭などの身の回りの具体物を扱いながら、2つの数を1つの数にまとめたり（品物を選ぶ）、1つの数を2つの数に分けたり（釣銭に気付く）することができる。<br><input type="checkbox"/> 具体的な活動を通して、数量の操作を表現したり、分割・統合を体験的に理解できたりするように支援する。   |    |

| 学 部         | 小学部   | 学 年   | 第4学年  |    |
|-------------|---|-------|---|----|
| 教科等名        | 音楽  | グループ名 | 第4学年  |    |
| ねらい         | <p>(1) 曲名や曲想と簡単な音楽づくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音や音楽に関わり、教員と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽活動を活かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。</p> |       |   |    |
| 担当教員        | ○黒川凌河 沢井真里子 上原欣一 小林千鶴 村山優夏 渡邊富士<br>高橋大樹 中藤良子  |       |   |    |
| 年間授業時数      | 35 単位時間   |       |   |    |
| 使用教科書       | 「いっぱいうたって！たのしいうたの絵本」こぐま社  |       |   |    |
| 月           | 題材名   | 時数    | ○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫  | 備考 |
| 4<br>5<br>6 | 拍にのって<br>リズムを取<br>ろう①   | 10    | <p>○歌唱「校歌」「春のうた」等</p> <p>◆歌詞に使われている言葉の一部分を身体で表現する。</p> <p>◆季節を感じながら、新しい学年になった喜びを表現する。</p> <p>□分かりやすい動きで、振付をまねしやすくする。</p> <p>○身体表現「こいぬの BINGO」（手拍子）、「茶色の小瓶」（ボディーパーカッション）等</p> <p>◆リズムを意識して、教員や友達と一緒に身体を動かす。</p> <p>□曲の中にある特徴的な音など、印象に残りやすい音を使ってリズムを取るように促す。</p> <p>○音楽づくり「3じのおやつ」等</p> <p>◆音遊びを通して、音の面白さに気付く。</p> <p>□音色の違いに気が付きやすいように、音階のある楽器を用意する。</p> <p>○器楽「かがやけ囃」「春がきた」等</p> <p>◆リズムを感じながら和太鼓や鍵盤楽器などの演奏をする。</p> <p>□順番や楽器の種類、音の出し方等を写真やイラストで示し、見通しをもちやすくする。</p> <p>○鑑賞「楽器を知ろう、聴いてみよう」楽器演奏<br/>＜オリパラ 2020 レガシー 伝統文化＞等</p> <p>◆視覚教材や演奏楽器に注目しながら曲の雰囲気を楽しむ。</p> <p>□CD の歌を聴いたり、視覚教材を提示したりしてイメージをもてるようにする。</p> |    |
| 7<br>9      | 拍にのって<br>リズムを取<br>ろう②   | 7     | <p>○歌唱「青い空に絵を描こう」「もみじ」等</p> <p>◆式典で歌う曲のハンドサイン等を覚える。</p> <p>□歌詞に合わせ、分かりやすい動きで表現する。</p> <p>○器楽「ミッキーマウスマーチ」「いろんな木の実」等</p> <p>◆色楽譜を活用しながら、リズムを意識して鍵盤楽器で曲の一部を演奏する。</p> <p>＜使用楽器（身近な打楽器などを含む）＞キーボード、トライアングル、カスタネット、など</p> <p>□児童の実態に合わせて主旋律、旋律の一部、リズム等のグ</p>  |    |

|                |                   |    |   |
|----------------|-------------------|----|---|
|                |                   |    | <p>ループに分ける。</p> <p>○音楽づくり「夕焼け小焼け」等</p> <p>◆声や身の回りの様々な音に特徴があることを知る。</p> <p>○身体表現「手のひらを太陽に」(ボディーパーカッション)</p> <p>◆リズムを意識して、教員や友達と一緒に身体を動かす。</p> <p>□音楽に合わせた動きを楽しく、シンプルな振り付けや動きで踊る。</p> <p>○鑑賞「あめふりくまのこ」、「大きな古時計」等</p> <p>◆季節を感じて鑑賞をする。</p> <p>□多様な音楽に触れられるように選曲をする。</p>  |
| 10<br>11<br>12 | テンポやリズムに合わせて表現しよう | 10 | <p>○歌唱「ともだちになるために」「風も雪もともだちだ」等</p> <p>◆曲の雰囲気を感じ取って歌ったり、曲の一部で声を出したり、ハンドサインをしたりする。</p> <p>○器楽「ジングルベル」等</p> <p>◆伴奏のテンポやリズム、示したタイミングに合わせて演奏する。</p> <p>&lt;使用楽器(身近な打楽器などを含む)&gt;和太鼓、ベルハーモニー、鍵盤楽器、鈴、タン布林、パドルドラム、カバサ、マラカス、等</p> <p>□いろいろな友達と関わられるように学級をこえてペアを組んだり、大きな円になって踊ったりする。</p> <p>○鑑賞「こぎつね」等</p> <p>◆パネルシアター等に注目しながら、曲の雰囲気を楽しむ。</p> <p>季節に関する曲を楽しむ。</p> <p>□季節に関する楽曲を選択する。</p>  |
| 1<br>2<br>3    | 表現しよう             | 8  | <p>○歌唱「ゆき」「校歌」「国歌」「日のまる」「気球に乗ってどこまでも」等</p> <p>◆曲の雰囲気を感じ取って歌ったり、曲の一部で声を出したり、ハンドサインをしたりする。</p> <p>□歌う姿勢(肩幅に足を広げ、背筋を伸ばす)を教員が見本で示したり、視覚教材を用いて示したりする。</p> <p>○身体表現「おにのパンツ」等</p> <p>◆友達と一緒に身体を動かしたり、元気よく身体を動かしたりすることを楽しむ。</p> <p>◆布や棒等の手具を持って踊る。</p> <p>○器楽「山の音楽家」「ジャンプどん」等</p> <p>◆自分の演奏するパートやリズムを理解して演奏する。</p> <p>◆曲の雰囲気を感じ取って、演奏する。</p> <p>&lt;使用楽器(身近な打楽器などを含む)&gt;ベルハーモニー、鉄琴、鈴、和太鼓等</p> <p>○音楽づくり「北風小僧の寒太郎」等</p> <p>◆教員や友達と一緒に簡単な音を作る。</p> <p>□身近な楽器等を使って日常で聞く音(風など)を作る。</p> <p>○鑑賞 季節の歌</p> <p>◆教員の生演奏、視覚教材等に注目し、曲の雰囲気を楽しむ。</p> |

| 学 部    | 小学部   | 学 年   | 第4学年   |    |
|--------|---|-------|--|----|
| 教科等名   | 図画工作  | グループ名 | 第4学年   |    |
| ねらい    | <p>(1)形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。</p> <p>(2)表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。</p> <p>(3)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。</p> |       |  |    |
| 担当教員   | ○村山優夏 沢井真里子 上原欣一 小林千鶴 渡邊富士 高橋大樹<br>黒川凌河 中藤良子  |       |  |    |
| 年間授業時数 | 70 単位時間   |       |  |    |
| 使用教科書  | 「クーとマーのおぼえるえほん1 ぼくのいろなあに」ポプラ社   |       |  |    |
| 月      | 題材名   | 時数    | ○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫   | 備考 |
| 4<br>5 | 国旗や応援グッズを作ろう<br><br>消防車を描こう   | 8     | <p>○国旗の配色を見て、画用紙や絵の具を使い、旗の作成</p> <p>○体育授業発表会の応援グッズを様々な素材のよさを感じながら作る</p> <p>◆絵の具やクレヨンを使って、見本を見て描いたり、着色したりすることができる。</p> <p>◆立体作品を作ることを通して、素材のよさを感じながら、素材を組み合わせる活動を楽しむことができる。</p> <p>□国旗のイメージがもてるように、国旗のイラストや写真を提示する。</p> <p>□児童の扱いやすい素材でプラスチックや紙皿など立体作品に取り組めるようにする。</p> <p>○消防車などの実物を見て、描いたり、塗り絵をしたりする</p> <p>◆実物を見て、構図や色彩を考えたり、工夫したりすることができる。</p> <p>□実態に合わせて、画用紙と塗り絵を準備する。</p> |    |
| 6      | 紙を染めよう  | 10    | <p>○折ったり、丸めたりした紙や不織布などを着色して、友達と一緒に制作</p> <p>◆折ったり、丸めたりした紙や不織布などを色の変化に気付きながら、着色することができる。</p> <p>◆友達と協力して、進んで制作することができる。</p> <p>□工程が分かりやすいようにトレーや絵の具などを配置し、動線を明確にする。</p>   |    |
| 7      | 大きく描こう  | 4     | <p>○ローラーや刷毛、型などの道具を使って、大きな紙に描く</p> <p>◆色や模様の変化を感じながら、工夫して着色することができる。</p> <p>□3色程度から好きな色を2色選び、混色する活動を通して色の変化を観察できるようにする。</p>  |    |

|        |              |    |  |
|--------|--------------|----|--|
| 9      | 切って貼ろう       | 6  | <p>○はさみを使って、曲線や直線を切る</p> <p>○切った素材を動物や植物、食べ物などの形に、並べたり、重ねたりして貼る</p> <p>◆身近な物の形を意識して貼り絵をすることができる。</p> <p>◆はさみや糊などの道具を安全に正しく使うことに慣れる。</p> <p>□児童の実態に応じて、1回切りの短冊の幅を変えたり、直線切りの長さを変えたりして、正しく切れる経験を多く積めるようにする。</p> |
| 10     | 粘土で遊ぶ        | 8  | <p>○紙粘土を伸ばしたり、ちぎったり、丸めたりする楽しみを味わう</p> <p>◆紙粘土の感触を味わい、形のイメージをもって紙粘土の形を変化させることができる。</p> <p>□「粘土体操」を行い、材料に十分触れることができるようにする。</p>   |
| 11     | 羽ばたき祭の準備をしよう | 6  | <p>○友達と一緒に、色紙や段ボールなどの素材に着色したり、組み合わせたりする</p> <p>◆友達と一緒に着色したり、素材を並べたり、重ねたりすることができる。</p> <p>□友達と一緒に着色できる大きな紙や箱などを用意し、活動量を確保する。</p>  |
| 12     | クリスマス飾りをつくらう | 6  | <p>○毛糸、綿、布などを組み合わせて飾りを作る</p> <p>◆材料の形や色の違いに気付き、自分のイメージで並べ方や組み合わせ方を工夫することを楽しむ。</p> <p>□粘着剤（木工ボンド）を安全に使えるように、濡れ雑巾を用意して手指を拭けるようにする。</p>   |
| 1      | 冬の飾り（干支）     | 8  | <p>○はさみを使って、曲線や直線切りなどをする</p> <p>○切った素材を並べたり、重ねたりして貼る</p> <p>◆素材を切ったり、貼ったり、並べたりして、素材の形を変化させることができる。</p> <p>□はさみ、のり、粘着テープを使って、立体の動物を作り、斜面を滑らせて動かすことで創作意欲を引き出す。</p>   |
| 2<br>3 | 春の飾り         | 14 | <p>○スクラッチ、ステンシル、マーブリングなどの表現技法を用いて、いろいろな模様を描く</p> <p>◆道具を使って着色する楽しみを味わう。</p> <p>◆模様の形や色の変化を楽しみ、見方や感じ方を広げる。</p> <p>□絵の具の色や模様の形を選んで、着色できるようにする。</p> <p>□題材や色彩感など、春らしさを感じさせるものを提示する。</p>                         |

|                |  |    |  |      |
|----------------|--|----|--|------|
| 学 部            | 小学部  |    | 学 年  | 第4学年 |
| 教科等名           | 体育   |    | グループ名  | 第4学年 |
| ねらい            | <p>(1)教員の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。</p> <p>(2)基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。</p> |    |  |      |
| 担当教員           | ○小林千鶴 沢井真里子 上原欣一 村山優夏 渡邊富士 高橋大樹<br>黒川凌河 中藤良子   |    |  |      |
| 年間授業時数         | 35 単位時間  |    |  |      |
| 使用教科書          | なし   |    |  |      |
| 月              | 題材名  | 時数 | ○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫   | 備考   |
| 4<br>5         | 体育発表会<br>をしよう  | 6  | <input type="checkbox"/> 集団行動<br><input type="checkbox"/> 準備運動「ラジオ体操」「Follow me」<br><input type="checkbox"/> 曲線走「歩く・走る」<br><input type="checkbox"/> 玉入れ<br><input type="checkbox"/> 表現運動<br>◆教員の支援で集団行動がとれる。<br>◆教員の動きを見て、部分的に身体を動かすことができる。<br>◆教員の支援を受けてゴールまで走ることができる。<br>◆教員と一緒にかごに玉を投げることができる。<br>◆手本を見て、部分的に模倣できる。<br><input type="checkbox"/> ゴールテープ等で視覚的にゴールが分かるようにする。<br><input type="checkbox"/> 笛のリズムや音量、長さを工夫して動きやすいようにする。 |      |
| 6<br>7         | 自分の身体<br>のを知ろう   | 5  | <input type="checkbox"/> スポーツテスト<br>◆自分の体力や運動能力に興味をもって取り組むことができる。<br><input type="checkbox"/> 測定された数値を大きく見やすく示し、意識を高める。  |      |
| 9              | 水の中で身体を動かそう  | 3  | <input type="checkbox"/> 水の中での基本的な運動（アヒル歩き、バブリングなど）<br><input type="checkbox"/> 水中ゲーム（輪くぐり、水中じゃんけんなど）<br>◆肩までつかって水中を歩くことができる。曲線走<br>◆水中にあるフープを肩まで水に浸かりながら通ったり、潜ってくぐったりすることができる。<br><input type="checkbox"/> 深いプールでは水底板を使い、足がつく場所で活動を行う。  |      |
| 10<br>11<br>12 | 器械・器具<br>を使って体<br>を動かそう  | 11 | <input type="checkbox"/> 固定施設を使った運動<br><input type="checkbox"/> 器具を使った運動（マット➡前転がり、後ろ転がりなど）（低鉄棒➡跳び上がり、跳び下りなど）（跳び箱➡またぎ乗り、またぎ下りなど）<br>◆教員と手をつなぎ、低い平均台の上を交互に足を出して歩くことができる。<br>◆教員の身体支援や言葉掛けを受けて、前転がりをする事ができる。<br>◆跳び箱に手を着いて、跳び箱に乗ることができる。<br>◆順手で鉄棒を握り、教員の身体支援を受けて、つばめの姿勢ができる。<br><input type="checkbox"/> 跳び箱に手を着く位置に印をつける。<br><input type="checkbox"/> 高さの違う平均台を並べて、自分で選べるようにする。   |      |

|   |       |    |  |  |
|---|-------|----|--|--|
| 1 | ボール運動 | 10 | ○ボールを使った運動（パス・投げる・蹴る・転がす）  |  |
| 2 |       |    | ○的当てゲーム（ストラックアウトなど）  |  |
| 3 |       |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆止まっているボールをゴールに向かって蹴ることができる。</li> <li>◆バーの間を狙って、ボールを転がすことができる。</li> <li>◆的を狙ってボールを投げることできる。</li> <li>□児童が主体的に取り組めるようにコースを作る。</li> <li>□児童が扱いやすい大きさ、柔らかさのボールを使用する。</li> <li>□ラバーマットやミニハードルを置いて、蹴る場所を分かりやすくする。</li> </ul> |  |

| 学 部            | 小学部   | 学 年   | 第4学年   |    |
|----------------|---|-------|--|----|
| 教科等名           | 体育(朝の運動)  | グループ名 | 第4学年   |    |
| ねらい            | (1)教員の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。<br>(2)基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。<br>(3)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。 |       |  |    |
| 担当教員           | ○小林千鶴 沢井真里子 上原欣一 村山優夏 渡邊富士 高橋大樹<br>黒川凌河 中藤良子  |       |  |    |
| 年間授業時数         | 105 単位時間  |       |  |    |
| 使用教科書          | なし  |       |  |    |
| 月              | 題材名   | 時数    | ○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫   | 備考 |
| 4<br>5         | 体育発表会<br>をしよう   | 18    | ○集団行動「集合」「整列」等<br>○曲線走「歩く・走る」<br>○玉入れ<br>○身体表現「おどるポンポコリン」<br>◆教員の支援で集団行動がとれる。<br>◆教員の支援を受けてゴールまで走ることができる。<br>◆教員と一緒にかごに玉を投げるができる。<br>◆見本を見て、部分的に模倣できる。<br>□ゴールテープ等で視覚的にゴールが分かるようにする。<br>□笛のリズムや音量、長さを工夫して動きやすいようにする。 |    |
| 6              | 自分の身体<br>のを知ろう  | 9     | ○スポーツテスト<br>◆自分の体力や運動能力に興味をもって取り組むことができる。<br>□測定された数値を大きく見やすく示し、意識を高める。  |    |
| 7<br>9         | 多様な動き<br>を身に付け<br>よう①   | 15    | ○リトミックⅠ<br>◆教員と一緒に、音楽に合わせて身体を動かすことができる。<br>□笛を効果的に使い、動き出しや止まるタイミングを伝える。<br>□コーナーにコーンを置いて、走るコースが分かるようにする。   |    |
| 10<br>11<br>12 | 多様な動き<br>を身に付け<br>よう②   | 33    | ○リトミックⅡ<br>◆教員と一緒に、音楽に合わせて身体を動かすことができる。<br>□笛を効果的に使い、動き出しや止まるタイミングを伝える。<br>□コーナーにコーンを置いて、走るコースが分かるようにする。   |    |
| 1<br>2<br>3    | きまりを守<br>って走ろう  | 30    | ○周回走・時間走<br>◆一定時間止まらずに走る・歩くことができる。<br>□教員と一緒に走り、手本を見せる。<br>□ミニコーンを置いてコースを示し、コーナーに教員が立ち児童が止まらないように促す。   |    |



| 学 部           | 小学部  | 学 年   | 第4学年   |    |
|---------------|--|-------|--|----|
| 教科等名          | 体育(25分体育)  | グループ名 | 第4学年   |    |
| ねらい           | <p>(1)教員の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。</p> <p>(2)基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。</p> |       |  |    |
| 担当教員          | ○小林千鶴 沢井真里子 上原欣一 村山優夏 渡邊富士 高橋大樹<br>黒川凌河 中藤良子   |       |  |    |
| 年間授業時数        | 21 単位時間  |       |  |    |
| 使用教科書         | なし   |       |  |    |
| 月             | 題材名  | 時数    | ○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫   | 備考 |
| 4<br>5        | 体育発表会<br>をしよう  | 2     | <input type="radio"/> 集団行動「集合」「整列」等<br><input type="radio"/> 曲線走<br><input type="radio"/> 玉入れ<br><input type="radio"/> 身体表現<br><input checked="" type="checkbox"/> 教員の支援で集団行動がとれる。<br><input checked="" type="checkbox"/> ゴールまで走ることができる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 教員と一緒にかごに玉を投げることができる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 全体の見本を見ながら模倣して身体を動かす。<br><input type="checkbox"/> 笛のリズムや音量、長さを工夫して動きやすいようにする。<br><input type="checkbox"/> ゴールテープ等で視覚的にゴールが分かるようにする。 |    |
| 6<br>7        | 自分の身体<br>のを知ろう①  | 2     | <input type="radio"/> スポーツテスト<br><input checked="" type="checkbox"/> 自分の体力や運動能力に興味をもって取り組むことができる。<br><input type="checkbox"/> 測定された数値を大きく見やすく示し、意識を高める。  |    |
| 9<br>10<br>11 | 表現運動を<br>しよう   | 6     | <input type="radio"/> 表現運動<br><input checked="" type="checkbox"/> 手本を見て、部分的に動きの模倣ができる。<br><input type="checkbox"/> 視覚的に分かりやすく児童に示す。  |    |
| 12            | 身体のこと<br>を知ろう②<br>(保健)   | 3     | <input type="radio"/> 身体の変化を知る<br><input checked="" type="checkbox"/> 身体部位の名称を知り、自分の身体の変化や体調の不調(発熱、咳など)を意識することができる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 身体部位の名称を知り、男女の違いや距離の取り方を知り、意識することができる。<br><input type="checkbox"/> スライドや映像資料を使用し、児童が視覚的に分かりやすい内容を準備する。  |    |
| 1<br>2        | 道具を使っ<br>て運動をし<br>よう   | 4     | <input type="radio"/> 「パラバルーン」「遊具」「インラインスケート」「トランポリン」等を使った運動<br><input checked="" type="checkbox"/> 教員からの部分的な支援を受けて、道具を使って運動することができる。<br><input type="checkbox"/> 様々な道具を使用するので、安全に留意して行う。  |    |
| 3             | 健康な生活<br>を送ろう<br>(保健)  | 2     | <input type="radio"/> 健康な生活に向けて<br><input checked="" type="checkbox"/> 教員の支援を受けて、自分の体調の変化を感じ伝える。<br><input type="checkbox"/> 自分の体調の変化や健康に気付けるように言葉掛けをする。   |    |

|  |    |   |  |  |
|--|----|---|--|--|
|  | 保健 | 2 | <ul style="list-style-type: none"><li>○うがい</li><li>○手洗い</li><li>○体調管理、身体のこと</li><li>◆教員の言葉掛けを受けてうがいをする。</li><li>◆教員の言葉掛けを受けて手洗いをする。</li><li>◆教員の言葉掛けを受けて保健室に行き、熱を測ったり、怪我の治療をしたりする。</li><li>□手洗いやうがいなどイラスト等でやり方を視覚的に示す。</li></ul> |  |
|--|----|---|--|--|

| 学 部    | 小学部   | 学 年   | 第4学年  |    |
|--------|---|-------|---|----|
| 教科等名   | 日常生活の指導   | グループ名 | 普通学級（自閉）  |    |
| ねらい    | (1) 視覚的なツール等を手掛かりに、日常生活に必要な身辺処理を自分で行う。<br>(2) 学校生活の基本的なルールを理解の定着を図る。<br>(3) 学校生活に必要な習慣や技能を身に付けようとする態度を養う。 |       |   |    |
| 担当教員   | ○黒川凌河 中藤良子  |       |   |    |
| 年間授業時数 | 399 単位時間  |       |   |    |
| 使用教科書  | なし  |       |   |    |
| 月      | 題材名   | 時数    | ○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫  | 備考 |
| 4<br>5 | 新しい教室<br>に慣れよう  | 80    | ○荷物整理や着替え<br>◆新しい教室や環境で日常生活の課題に取り組める。<br>□やることを分かりやすくするため、手順表を用いたり、イラストで荷物を置く場所を示したりして支援する。<br>○学級集団の理解<br>◆新しい教員や友達に慣れ、新しいルールを知ったり落ち着いて行動したりすることができる。<br>□担任など身近な教員が、児童にとって初めて会う教員に挨拶を促すなどして、慣れていけるようにする。<br>○安全な学校生活<br>◆日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。<br>□児童の実態に応じて、自分の机やロッカーなどが分かるように、またルールを理解しやすいように視覚的に支援する。 |    |
| 6<br>7 | できること<br>を増やそう<br>～朝の会、帰りの会、係の仕事等～  | 80    | ○挨拶、スケジュール理解<br>◆言葉や身振りで挨拶をする。<br>◆日常生活の大体の予定が分かり、見通しをもって行動できるようになる。<br>□見通しをもって過ごすことができるように、イラスト付きのカードを用いたスケジュール表で一日の流れを毎日確認する。<br>○係の仕事<br>◆自分の係仕事を理解し、適切な場面で自分から取り組める部分を増やす。<br>□児童の実態に応じて係仕事を決めたり、スケジュール・挨拶の仕方などについて視覚的に提示したりする。  |    |
| 9      | 自分のことは自分でしよう①<br>～着替え、荷物の整理等～   | 45    | ○着替えや荷物の整理<br>◆立位で靴の履き替えをする。着替えで前後左右裏表を適切に着たり、衣類をたたんでかごや袋に入れたりするなどの整理ができる。<br>□児童の実態に応じて、手順や援助の依頼の仕方を視覚的に提示するなど、個別に支援する。  |    |

|          |  |  |   |
|----------|--|--|---|
| 10       | 自分のことは自分でしよう②<br>～給食の身支度、片付け等～   | 40   | <p>○給食の身支度、片付け</p> <p>◆衛生的に給食の身支度、片付けを行うことができる。</p> <p>◆配膳・下膳に部分的に取り組み、生活に役立つスキルを身に付ける。</p> <p>□児童の実態に応じて、手順を視覚的に提示するなど、個別に支援する。</p>  |
| 11<br>12 | 身の回りをきれいにしよう<br>～掃除～   | 59   | <p>○掃除</p> <p>◆台布巾を適切に絞ることができる。</p> <p>◆机拭き、ごみ捨てなど身の回りをきれいにする習慣を身に付ける。</p> <p>□児童の実態に応じて、手順を視覚的に提示したり、身体的に補助してやり方を知らせたりするなど、個別に支援する。</p>  |
| 1        | 清潔に過ごそう  | 40   | <p>○手洗い、うがい</p> <p>◆石鹸を使って手洗いし、ハンカチで適切に手を拭くことができる。</p> <p>◆口に水をため、ぶくぶくうがいやガラガラうがいをすることができる。</p> <p>◆健康や安全に気を付け、身の回りを整える習慣を身に付ける。</p> <p>□児童の実態に応じて手順を視覚的に提示したり、身体的に補助してやり方を知らせたりするなど、個別に支援する。</p>                                 |
| 2<br>3   | きまりを守って生活しよう   | 55   | <p>○集団生活</p> <p>◆「ありがとう」「ごめんなさい」などを言動で伝えることができる。</p> <p>◆活動の始まりや終わり、順番に並ぶこと、集団での活動を意識し、集団に自分の行動を合わせられる部分を増やす。</p> <p>◆友達と仲良くしたり、ルールを守ったりすることができる。</p> <p>□児童の実態に応じて、個別に課題を調整し、適切に支援する。</p> <p>□ヘルプマークについて知ったり、気付いたりできるよう支援する。</p> |
| 通年       | 登校後（荷物整理、着替え、係活動、課題、朝の会）<br>給食前後（準備、食事、片付け、教室整備）<br>下校前（着替え、荷物整理、係活動、帰りの会） | <p>含まれる各教科の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活 基本的な生活習慣、日課・予定、人との関わり、役割、手伝い・仕事、きまり、生命・自然</li> <li>・国語 聞く・話す（名前呼び）</li> <li>・算数 数量（人数、出席調べ）、実務（暦）</li> <li>・道徳科 節度・節制（予定の把握・身辺自立）<br/>礼儀・感謝（挨拶、お礼）<br/>規則の尊重（ルールを守る）</li> </ul> |   |

| 学 部    | 小学部   | 学 年   | 第 4 学年  |    |
|--------|---|-------|---|----|
| 教科等名   | 生活単元学習（学年）  | グループ名 | 第 4 学年  |    |
| ねらい    | (1)身近な生活に必要な経験を重ねていく中で、基礎的な知識や技能を身に付ける。<br>(2)教員や友達と協力して活動する楽しさを味わう。<br>(3)体験的な学習を通して、自然や社会との関わりや公共のルールやマナーを知る。<br>(4)単元の中で、複数の活動を経験することを通して、積極的に活動できるようにする。（プログラミング学習） |       |   |    |
| 担当教員   | ○渡邊富士 上原欣一 沢井真里子 小林千鶴 村山優夏 高橋大樹<br>黒川凌河 中藤良子  |       |   |    |
| 年間授業時数 | 140 単位時間  |       |   |    |
| 使用教科書  | 「外国のえほん うんちしたのはだれよ！」偕成社<br>「幼児絵本シリーズ（くまくんの絵本）おふろだ、おふろだ！」副音館書店し  |       |   |    |
| 月      | 題材名   | 時数    | ○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫  | 備考 |
| 4      | 仲良くなるろう   | 13    | <input type="checkbox"/> 自己紹介やゲーム<br><input type="checkbox"/> 整列歩行、遊具遊び<br><input checked="" type="checkbox"/> 新しい環境に慣れ、身近な教員や友達と過ごすことができる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 公共のルールを守って学年全体で歩行することができる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 順番や簡単なルールを守り、学年の友達と仲良く安全に遊ぶ。<br><input type="checkbox"/> 写真カードや頑張りカードなど視覚的な手立てを用いる。  |    |
| 5<br>6 | みんなで動物園へいこう   | 20    | <input type="checkbox"/> 校外学習のスケジュールの確認としおりなどの作成<br><input type="checkbox"/> 道路を歩く際のマナー、及び、公共施設の利用方法やマナー<br><input checked="" type="checkbox"/> スケジュールをおおまかに理解して自主的に活動する。<br><input checked="" type="checkbox"/> 公共施設の利用方法やマナーを守ることができる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 教員や友達と並んだり手をつないだりして、落ち着いて目的地まで歩くことができる。<br><input type="checkbox"/> スライドや写真、動画などを用いて、校外学習のイメージをもったり、思い出したりすることができるようにする。  |    |
| 6      | 50周年を祝おう①   | 5     | <input type="checkbox"/> 予定の確認や50年キャラクターのぬりえ<br><input checked="" type="checkbox"/> 50周年行事があることを知り、キャラクターに親しむ。<br><input type="checkbox"/> スライドなどを用いてイメージをもてるようにする。   |    |
| 7      | 夏祭りをしよう   | 15    | <input type="checkbox"/> 簡単な決まりのあるゲーム<br><input type="checkbox"/> 使用物品の製作<br><input checked="" type="checkbox"/> ゲームのルールをおおまかに理解して自主的に活動する。<br><input checked="" type="checkbox"/> 友達と協力して、制作活動ができる。<br><input type="checkbox"/> 友達と関わり合えるようなゲームや制作活動を設定する。   |    |
| 9      | 目指せ高尾山！！  | 6     | <input type="checkbox"/> 校外学習のスケジュールの確認としおりや絵地図の作成<br><input type="checkbox"/> 道路を歩く際のマナー、及び、公共施設の利用方法とマナー<br><input type="checkbox"/> 学習用タブレット端末を使用した調べ学習<br><input checked="" type="checkbox"/> スケジュールをおおまかに理解して友達や教員と一緒に活動することができる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 教員や友達と並んだり、手をつないだりして、落ち着いて目的地まで歩くことができる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 横断歩道の渡り方や信号の見方などの交通ルールを知る。<br><input checked="" type="checkbox"/> 公共施設の利用方法やマナーを守って活動できる。 |    |

|          |                     |    |   |
|----------|---------------------|----|---|
|          |                     |    | <p>◆学習用タブレット端末を用いて、教員と一緒に調べることを通して、校外学習への関心を高める。</p> <p>□スライドや写真を用いて、校外学習のイメージをもったり、思い出したりすることができるようにする。</p> <p>□公共施設の利用について、スライドなどを用いて説明する。</p>  |
| 9        | 50周年を祝おう②           | 9  | <p>○手紙や装飾などの制作活動</p> <p>◆50周年を喜ぶ気持ちを膨らませる。</p> <p>□制作などの親しみやすい活動を通して、50周年行事を意識できるようにする。</p>   |
| 10       | 秋を楽しもう              | 15 | <p>○道路を歩く際のマナー、及び、公共施設の利用方法やマナー</p> <p>○植物の観察</p> <p>◆教員や友達と並んだり、手をつないだりして、落ち着いて目的地まで歩くことができる。</p> <p>◆横断歩道の渡り方や信号の見方などの交通ルールを知る。</p> <p>◆季節の植物に目を向けたり、その変化に気付いたりすることができる。</p> <p>□イラストや写真を用い、季節の植物を意識できるようにする。</p>                   |
| 11<br>12 | 羽ばたき祭をしよう           | 25 | <p>○発表内容の練習</p> <p>○衣装や小道具の制作</p> <p>○買い物の練習</p> <p>○羽ばたき祭の振り返り</p> <p>◆羽ばたき祭の流れや発表の内容を知り、見通しをもって活動することができる。</p> <p>◆自分の役割を理解して主体的に取り組むことができる。</p> <p>◆欲しい物を選び、教員と一緒に買い物をする経験を積む。</p> <p>□児童がイメージをもちやすいダンスや音楽、運動などの活動を取り入れた発表にする。</p> |
| 1        | 様々な国を知ろう<br><外国語活動> | 5  | <p>○ALTとの活動（英語の歌やゲーム、簡単なやり取り）</p> <p>◆英語の歌や日常生活になじみのある言葉に親しむ。</p> <p>◆スライドなどで内容や流れを知り、見通しをもって活動することができる。</p> <p>□写真などを提示して言葉のイメージをもてるようにする。</p>   |
| 1<br>2   | 冬を楽しもう              | 12 | <p>○正月遊びや行事に関連した活動</p> <p>○道路を歩く際のマナー、及び、公共施設の利用方法やマナー</p> <p>◆遊びや校外での活動を通して季節を感じることができる。</p> <p>◆公共施設の利用方法やマナーを知る。</p> <p>◆横断歩道の渡り方や信号の見方などの交通ルールを知る。</p> <p>□絵や動画を用い、見通しをもって活動できるようにする。</p>   |
| 2<br>3   | お楽しみ会をしよう           | 15 | <p>○お楽しみ会の計画立案と実施</p> <p>○1年の振り返り</p> <p>◆約束やルール、順番を守って活動することができる。</p> <p>◆自分の係や役割を理解し、見通しをもって活動する。</p> <p>◆いろいろな活動の中からやりたいものを選択できる。</p> <p>□全ての児童が活躍できるよう役割分担をして準備を行う。</p>   |

| 学 部         | 小学部   | 学 年   | 第4学年  |    |
|-------------|---|-------|---|----|
| 教科等名        | 社会性の学習  | グループ名 | 自閉症の教育課程  |    |
| ねらい         | ①対人関係に関すること<br>(1)教員や友達とやり取りをして行動できる。<br>(2)挨拶・依頼などの言葉の理解、対応、表現ができる。<br>(3)周りの人に合わせる行動ができる。<br>②ソーシャルスキルに関すること<br>(1)状況に応じて、適切な行動ができる。<br>(2)役割のある行動を理解し、具体的な行動を学ぶ。 |       |   |    |
| 担当教員        | ○中藤良子 黒川凌河 村山優夏   |       |   |    |
| 年間授業時数      | 70 単位時間   |       |   |    |
| 使用教科書       | なし  |       |   |    |
| 月           | 題材名   | 時数    | ○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫  | 備考 |
| 4<br>5<br>6 | 先生や友達<br>に伝えてみ<br>よう<br>褒められて<br>みよう  | 19    | <input type="checkbox"/> ルールや勝敗のあるゲーム<br><input type="checkbox"/> 友達や教員との簡単なやりとり<br><input checked="" type="checkbox"/> 活動ができたことを報告し、評価されることを理解する。<br><input checked="" type="checkbox"/> 教員とのやり取りの中で、評価を理解したり指示や働きかけに応じたり、活動の手順を共有したりする。<br><input type="checkbox"/> 決められた場面で決められた言葉やサインで伝える活動を続け、児童が何をすれば良いか分かりやすくする。<br><input type="checkbox"/> 顔写真カードを用意して誘う友達を選ぶ。相手から顔写真カードを受け取り、誘われたことが分かるようにする。 |    |
| 7<br>9      | 手順表を使<br>おう   | 15    | <input type="checkbox"/> 手順書を使用した工作<br><input type="checkbox"/> 作成したものを使ったゲーム<br><input checked="" type="checkbox"/> 手順書の使い方を学び、表に沿って自分で活動できる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 違う手順が入った時の対処の方法を知り、対応力をつける。<br><input type="checkbox"/> イラストで工程を分かりやすく示す。<br><input type="checkbox"/> 繰り返し活動する中で、手順に変化を加える。<br><input type="checkbox"/> 児童の興味・関心の高い教材を用意し、やりたいと思う気持ちに配慮する。                        |    |
| 10<br>11    | 友達や先生<br>とやってみ<br>よう  | 10    | <input type="checkbox"/> 友達と協力したり、誘い合ったりするゲーム<br><input checked="" type="checkbox"/> 友達と一緒に活動する。<br><input checked="" type="checkbox"/> 集団遊びで一緒にやりたい友達を誘う。<br><input type="checkbox"/> ルールを視覚的に理解できるように環境設定したり、写真カードを使用して友達とのやり取りを促したりする。   |    |
| 11<br>12    | 場面に<br>応じた<br>行動を<br>覚え<br>よう   | 8     | <input type="checkbox"/> お買い物ごっこ<br><input checked="" type="checkbox"/> VTRを見たり、体験を通したりしてルールやマナーを学ぶ。<br><input type="checkbox"/> 買い物をするために列に並んだり、順番を守ったりして活動できるように、活動する位置を視覚化したり、イラストで動きを示したりして分かりやすいように指導する。   |    |

|             |   |    |  |  |
|-------------|---|----|--|--|
| 1<br>2<br>3 | 人に頼んで<br>みよう<br><br>校外での活<br>動のルール<br>やマナーを<br>覚えよう | 18 | ○友達と協力したり、誘い合ったりするゲーム<br>○御用学習<br>◆一緒に活動したい友達にお願いをしたり、誘われたことに気付いたりする。<br>◆お店屋さんを設定し、ルールやマナーを学ぶ。<br>◆挨拶やその場に応じた言葉遣いや態度を学ぶ。<br>□誘う時の言葉やサインを促し、児童自身が促しを受けて<br>気づき、表現できるように配慮する。<br>□写真カードやビデオを使って、再現し、ルールやマナー<br>を理解できるようにする。 |  |
|-------------|---|----|--|--|